第１章　総　　論

第１節　市域の現況

1 自然的条件

(1) 位置及び地勢

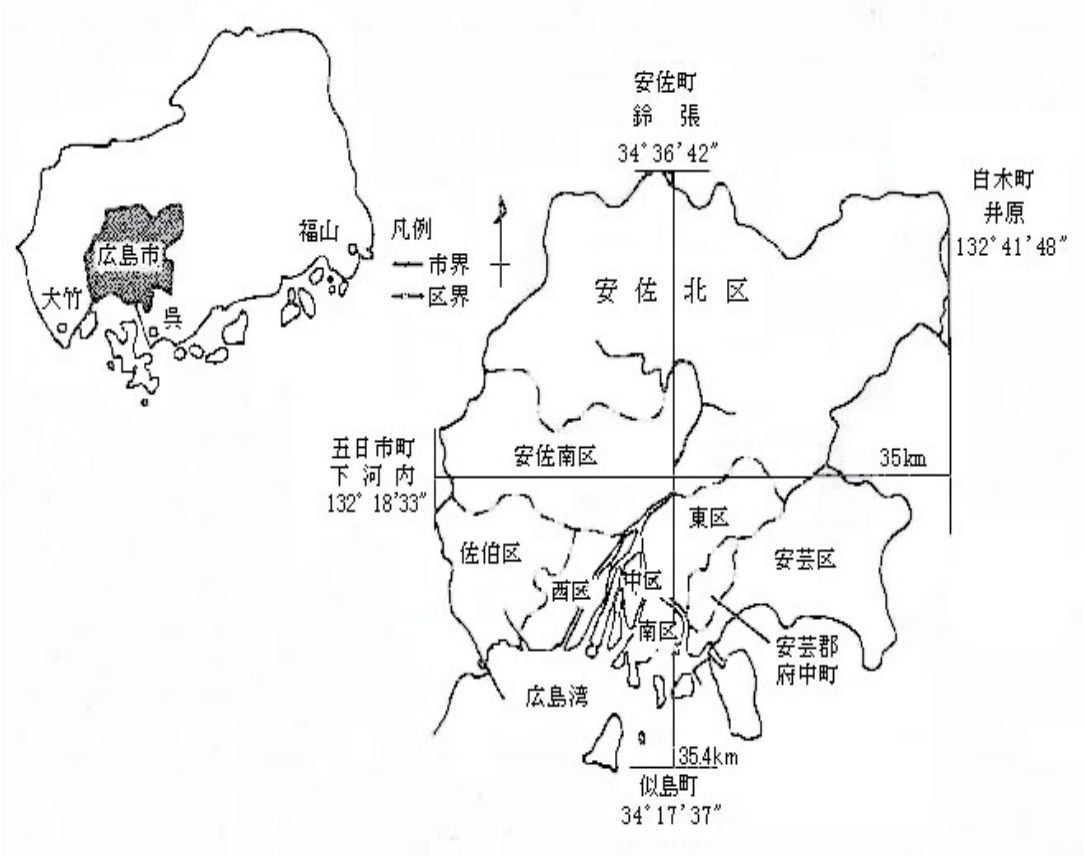
本市は広島県の西部に位置して広島湾に面し、東西･南北それぞれ約 35km あり、面積は 742.02km² である。

市域内の平地は、太田川低地、三篠川低地、府中低地及び広島低地から構成される広島平野、瀬野川低地及び海田低地から構成される海田平野及び五日市低地から成っている。

丘陵地･台地は低地に隣接し、山地は北部、東部及び西部にあり、標高 600m以上の山岳も多く点在しているがその山頂部分はなだらかである。

市内を流れる河川の水系は、太田川水系、瀬野川水系及び八幡川水系であり、広島市の代表的な河川である太田川は、下流部で太田川（放水路）、天満川、本川（旧太田川）、元安川、京橋川及び猿候川の 6 つの河川に分岐して広島湾に注いでいる。

図 1　広島市の位置



資　料：広島市統計書

(2) 地質

市域内の地質は、古生層、中生代白亜紀の高田流紋岩類、広島花崗岩類、第四紀洪積層、沖積層からなっている。

古生層は市北部地域に分布し、主として粘板岩からなっている。高田流紋岩類は白木町白木山一帯に分布している。洪積層は低地の沖積層の基盤として埋積されており、主として砂礫からなっている。沖積層は低地全般に分布し、砂層、シルト、粘土層、砂礫層からなっている。その他の大部分の地区は花崗岩類からなっている。

(3) 気候

本市の気候は、温暖で降水量が少ない「瀬戸内気候区」に属している。夏、冬の季節風は、四国山地、中国山地にさえぎられ、平年で 1 月 5.3℃、8 月 27.9℃、年平均 16.2℃と比較的温暖である。

降水量は、南に豊後水道が開けている影響で、夏は南寄りの風が多雨をもたらすことがあり、年平均 1,540.6mm と瀬戸内気候区としてはやや多い。

一年のうちで雨の多い時期は大別して、5 月上旬を中心とした春の雨の期間、梅雨期、9 月を中心とした「秋の長雨」と呼ばれる三つの期間である。水害の原因となる大雨は、梅雨末期の集中豪雨と台風に伴うものが主で、本市における大雨の記録は日最大雨量 339.6mm、一時間最大雨量 79.2mm である。

なお、10 月中旬から 3 月末までの約 6 か月間は、乾燥期で雨は少なく晴天の日が多い。

卓越風は年間を通じ太田川に沿って吹く北又は北々東の風が圧倒的に多く、夏の南西からの海風がこれに次いでいる。

2 社会的条件

(1) 人口及び世帯

平成 15 年 3 月末現在の住民基本台帳及び外国人登録人口によると、本市の人口は、1,133,264 人、世帯数は 480,155 世帯となり、前年同月に比べそれぞれ 0.5%、1.1%の増加となり、一世帯あたりの人口は 2.4 人である。

最近の本市の人口は自然増加（出生と死亡の差）を主体として増加しているが、社会増加（転入と転出の差）の減少により、増加傾向は鈍化している。一人の女子が一生の間に生む平均子供数（合計特殊出生率）は、平成 13 年は 1.32 人である。

平成 12 年の国勢調査による本市の総世帯数は 460,422 世帯で、前回の調査より 25,775 世帯（対前回比 5.9%）増加した。1 世帯あたりの平均世帯人員は 2.4 人であり、前回調査の 2.6 人よりわずかに減少している。

表 1　区別人口の推移

区	人 口					増加率（%）			
	昭和 55 年	60 年	平成 2 年	7 年	12 年	55～60 年	60～2 年	2～7 年	7～12 年
総　数	986,724	1,044,118	1,085,705	1,108,888	1,126,239	5.8	4.0	2.1	1.6
中　区	138,486	135,883	134,651	128,360	124,719	△ 1.9	△ 0.9	△ 4.7	△ 2.8
東　区	117,286	122,668	122,715	124,829	123,258	4.6	0.0	1.7	△ 1.3
南　区	151,534	147,541	143,938	138,208	135,467	△ 2.6	△ 2.4	△ 4.0	△ 2.0
西　区	155,424	169,190	178,486	178,838	179,519	8.9	5.5	0.2	0.4
安佐南区	157,728	169,430	175,211	185,414	204,636	7.4	3.4	5.8	10.4
安佐北区	113,238	131,211	144,446	154,079	156,387	15.9	10.1	6.7	1.5
安 芸 区	65,775	68,169	70,039	74,542	75,435	3.6	2.7	6.4	1.2
佐 伯 区	87,253	100,026	116,219	124,618	126,818	14.6	16.2	7.2	1.8

資　料：平成 14 年版市勢要覧
（注）各年とも、平成 12 年 10 月 1 日現在の市域に組み替えたものである。

(2) 土地利用

ア　地目別土地面積

平成 10 年から平成 14 年までの 5 か年の地目別土地面積の推移をみると、田や山林、畑が減少し、住宅地などの宅地が増加する傾向にある。

表 2　地目別土地面積の推移

単位：千 m²

区　　分		平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	増　減 (H10～14)
総面積		345,166	344,933	344,245	343,608	343,261	△ 1,905
宅地		74,821	75,586	76,172	77,010	77,446	2,625
	商業地区	2,733	2,736	2,736	2,740	2,742	9
	工業地区	8,191	8,300	8,445	8,532	8,529	338
	住宅地区	58,158	58,763	59,208	59,917	60,320	2,162
	その他	5,739	5,787	5,783	5,821	5,855	116
田		29,819	29,436	28,919	28,493	28,282	△ 1,537
畑		13,903	13,785	13,695	13,556	13,368	△ 535
山林		206,347	205,208	204,475	203,506	203,245	△ 3,102
原野		3,486	3,438	3,467	3,422	3,424	△ 62
池沼		35	34	33	38	38	3
塩田、牧場、鉱泉地		－	－	－	－	－	－
雑種地		14,286	14,982	15,029	15,132	15,007	721
軌道用地		2,469	2,464	2,455	2,451	2,451	△ 18

資　料：平成 14 年版広島市統計書
(注) 本表は、固定資産税の課税対象となる評価総地積で、公有地、公共用道路、公園などの課税対象外の土地は含まない。

イ　経営耕地

平成 12 年の世界農林業センサスによると、本市では 2,284ha の耕地（市域総面積の 3.1%）が 7,430 戸の農家によって経営されている。経営耕地のうち最も多く利用されているのは田で 1,744ha(経営耕地の 76.4%)、次いで、畑 415ha(同 18.2%)、樹園地 124ha(同 5.4%)となっている。

ウ　森林面積

本市の森林面積は、平成 15 年 3 月 31 日現在で、46,306ha（市域総面積の 62.4%）で、県下有数の広大な森林となっている。このうち、民有林は 42,448ha（総数の 91.7%）、国有林は 3,858ha（同 8.3%）となっている。

(3) 都市施設

ア　道路・橋梁

平成 15 年 4 月 1 日現在の市内の道路は、14,272 路線、実延長 4,011km で、道路の舗装率は、国道 100%、県道 99%、市道 93%となっている。

また、橋梁は 2,679 橋である。

イ　河川

市内の河川は主として一級河川太田川の流域にあり、少数が二級河川瀬野川流域、八幡川流域及び単独に流れている。平成 15 年 4 月 1 日現在、河川数は 562 河川で総延長は 700.2km に達し、このうち市が管理するものは 501 河川、392.0km である。

ウ　公園

平成 14 年度末現在、公園緑地の中心的施設である都市公園の開設状況は 1,054 か所、860.2ha で、これは市民１人当たり 7.59m² に当たり、広島市緑の基本計画において目標としている市民１人当たり約 10m² に向け、整備を推進している。

(4) 産業の動向

ア　就業者数及び事業所数

平成 12 年の国勢調査による本市の就業者 565,487 人を産業分類別にみると、第 1 次産業 7,352 人（構成比 1.3%）、第 2 次産業 136,824 人（24.2%）、第 3 次産業 411,140 人（72.7%）となっており、高度成長から安定成長への移行に伴いサービス経済化が進み、第 3 次産業の割合が高くなったが、近年、産業構造は安定している。

平成 11 年の事業所・企業統計調査による本市の民営事業所 55,485 の分布を区別にみると、中区が 17,731 事業所で全市の 32.0%を占めており、以下西区（8,464 事業所、15.3%）、南区（8,327 事業所、15.0%）、安佐南区（6,426 事業所、11.6%）と続いている。

イ　市民経済

平成 12 年度の市内総生産（＝総支出）は、名目で 4 兆 1,879 億円、経済成長率は 0.7%（前年度△4.7%）となり、物価変動を除いた実質（平成 7 年暦年基準）で 4 兆 2,758 億円、経済成長率は 1.5%（前年度△3.6%）で、名目は 3 年ぶり、実質は 4 年ぶりにプラス成長となった。

ウ　農業

本市の農業は、小規模な稲作経営が主流であるが、近年の著しい都市化の進展や農業従事者の高齢化、新規就業者の減少などにより、全般的に縮小傾向にある。

平成 12 年の農業センサスによると、本市の販売農家については、農家数 3,205 戸、農業就業人口 5,819 人であった。これを前回調査（平成 7 年）と比べると、農家数で 916 戸の減少、農

業就業人口 1,207 人の減少であった。

エ　林業

本市の民有林は、平成 15 年 3 月 31 日現在で、42,448ha で、その内訳は、まつ･ひのき･すぎなどの針葉樹が 27,217ha（民有林総数の 64.1%）、広葉樹 14,620ha（同 34.4%）、その他 611ha（同 1.４%）となっている。

市域のうち、北部森林地域には、古生層地帯を中心にすぎ･ひのきの生育に適した適潤性褐色森林土壌（適度の水分を保っている森林育成に最適な土壌）が広くみられ、人工林率が高く、古くから優良林業地域の形成が進んでいる。

一方、中南部地域では、せき悪土壌地帯（栄養分の少ない痩せた土壌）が多く、生産性の低いアカマツ及び広葉樹の天然林が主体となっており、都市地域の環境を保全する役割が高くなっている。

今後の森林の在り方としては、林産物の供給に加え、災害防止、水源涵養等の自然環境保全、景観保護やレクリエーションの場など総合的機能の発揮が求められている。

オ　水産業

本市の水産業は、海面では特産クロダイやメバル、ナマコ等を漁獲する釣、刺網、底曳網等の小規模な漁船漁業と特産広島カキを生産するカキ養殖業が営まれており、内水面では太田川水系でアユ漁、シジミ漁、モクズガニ漁等が営まれている。

漁獲量で見ると、都市化の進展に伴う漁業環境の変化や水産資源の減少、漁業者の高齢化などにより減少傾向にあるが、「つくり育てる漁業」等の水産振興施策の展開によって一部魚種には回復の兆しが見られている。

平成 13 年の広島農林水産統計によると、本市の漁業経営体数は 372 であり、このうちカキ養殖は 77 となっている。一方、漁獲量は海面漁業が 403t で、前年に比べ 6.9%の減少となり、カキ養殖は 4,545t で、前年に比べ 5.1%の減少となった。

カ　工業

平成 13 年の工業統計調査によると、従業者規模 4 人以上の事業所についてみると、事業所数 1,651 で前年より 76 減、従業員数 52,082 人で 1,756 人減、製造品出荷額等 1 兆 7,300 億円で 1,277 億円減であった。

従業者規模 4 人以上の事業所について業種別にみると、事業所数では食料品が 242（総数の 14.7%）で最も多く、次いで金属製品 235（同 14.2%）、出版・印刷 199（同 12.1%）などとなっているが、これらの多くは従業者規模の小さい事業所である。他方、製造品出荷額等では、輸送用機械器具が 7,692 億円（同 44.5%）で最も多く、半数近くを占め、以下、一般機械器具 3,010 億円（同 17.4%）、食料品 1,903 億円（同 11.0%）などとなっている。

このように本市の工業は、自動車を始めとする輸送用機械を中心とした高度組立型機械系工業を核としており、これらは製造メーカーを頂点に多くの関連企業等で構成される裾野の広い産業である。

キ　商業

平成 14 年の商業統計調査(飲食店を除く。)によると、商店数は 15,499 店、従業員数は 144,050

人、年間商品販売額は 8 兆 6,834 億円であった。前回調査（平成 11 年）と比べると、商店数で 10.3%の減少、従業者数で 3.9%の減少、販売額でも 10.3%の減少と全て減少になっている。

(5)エネルギー等消費

ア　電力消費量

平成 14 年 3 月末現在の電灯契約口数は 642,236 口で、前年度に比べ 7,513 口（1.2%）増加した。使用電力量は 24 億 4,534 万 kWh で、前年度に比べ 3,454 万 kWh（1.4%）増加した。

また、平成 14 年 3 月末現在の電力契約の契約口数は 90,451 口で、前年度に比べ 1,583 口（1.7%）減少した。一方、使用電力量は 38 億 240 万 kWh で、前年度に比べ 2,030 万 kWh（0.5%）増加した。

表 3　電灯需要

単位：口、千 kWh

区 分	平成 12 年度		平成 13 年度	
	契約口数	使用電力量	契約口数	使用電力量
総　　数	634,723	2,410,799	642,236	2,445,340
従量電灯Ａ	536,425	2,016,322	539,478	2,023,591

資　料：平成 14 年版市勢要覧

(注)　1 契約口数は年度末現在である。

2 従量電灯Ａは主に一般家庭用の契約。

表 4　電力需要

単位：口、千 kWh

区 分	平成 12 年度		平成 13 年度	
	契約口数	使用電力量	契約口数	使用電力量
総　　数	92,034	3,782,099	90,451	3,802,395
業務用電力		1,579,591		1,602,800
小 口 電 力		756,183		744,872
高 圧 電 力B		498,327		497,236
そ　の　他		179,455		174,070
特定規模需要		768,543		783,417

資　料：平成 14 年版市勢要覧

(注)　1 契約口数は年度末現在である。

2 小口電力は 500kW 未満のもの。

イ　ガス消費量

平成 13 年 12 月末現在の都市ガス需要戸数は 346,399 戸で、前年に比べ 3,163 戸（0.9%）増加した。消費量は 1 億 8,035 万 m^3 で、前年に比べ 738 万 m^3(4.3%)増加した。

表 5　都市ガス需要

単位：戸、千 m³（11,000kcal／m³）

区 分	平成 12 年		平成 13 年	
	需要戸数	消費量	需要戸数	消費量
総　　数	343,236	172,969	346,399	180,352
家 庭 用	321,774	90,639	325,091	89,542
商 業 用	17,827	45,220	17,620	45,942
工 業 用	292	17,636	303	25,167
医 療 用	1,457	6,552	1,478	6,612
公　　用	1,886	12,922	1,907	13,089

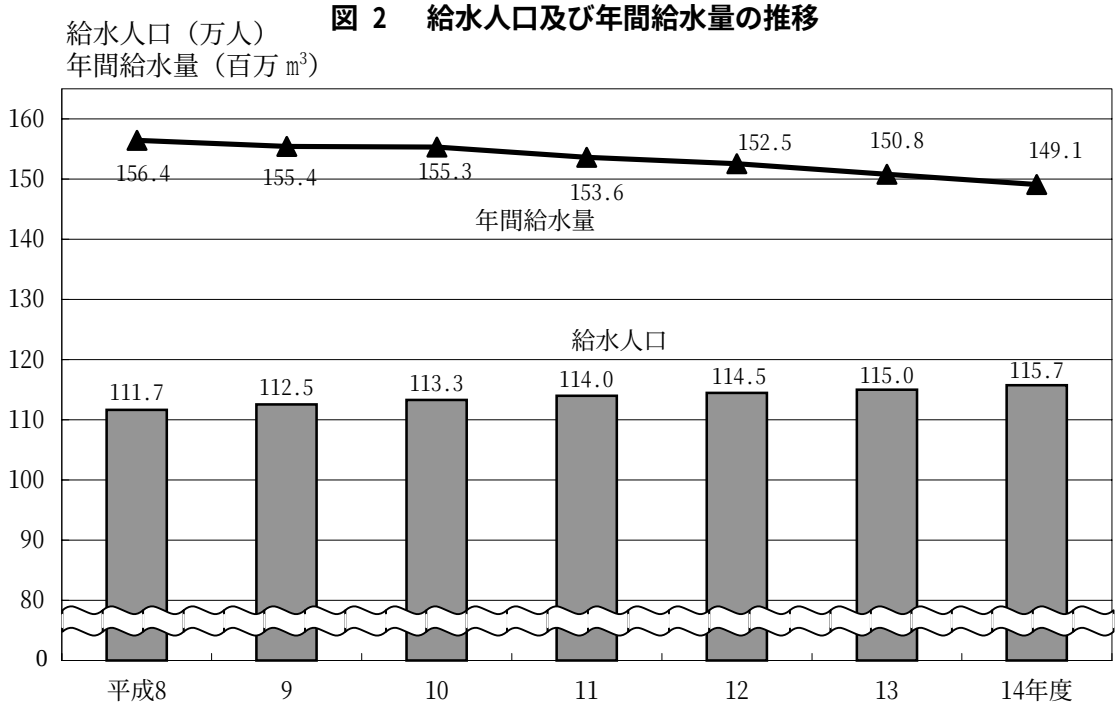
資　料：平成 14 年版市勢要覧
(注)　1 需要戸数は年末現在である。
　　2 廿日市市、安芸郡府中町、海田町、坂町、佐伯郡大野町を含む。

ウ　上水道給水量

平成 14 年度末の給水世帯数は 490,398 世帯で、前年度より 6,123 世帯増加した。また給水人口も 1,157,316 人となり、7,660 人増加し、普及率 96.8%となった。

平成 14 年度の年間給水量は、149,104,814m³で、前年度と比較すると 1,741,340m³（1.2%）の減少となった。

図 2　給水人口及び年間給水量の推移



資　料：水道局企画総務課
(注)　1 各項目には、給水区域である安芸郡府中町及び坂町を含む。
　　2 給水人口は、各年度末現在の住民基本台帳及び外国人登録に基づく算出数値である。

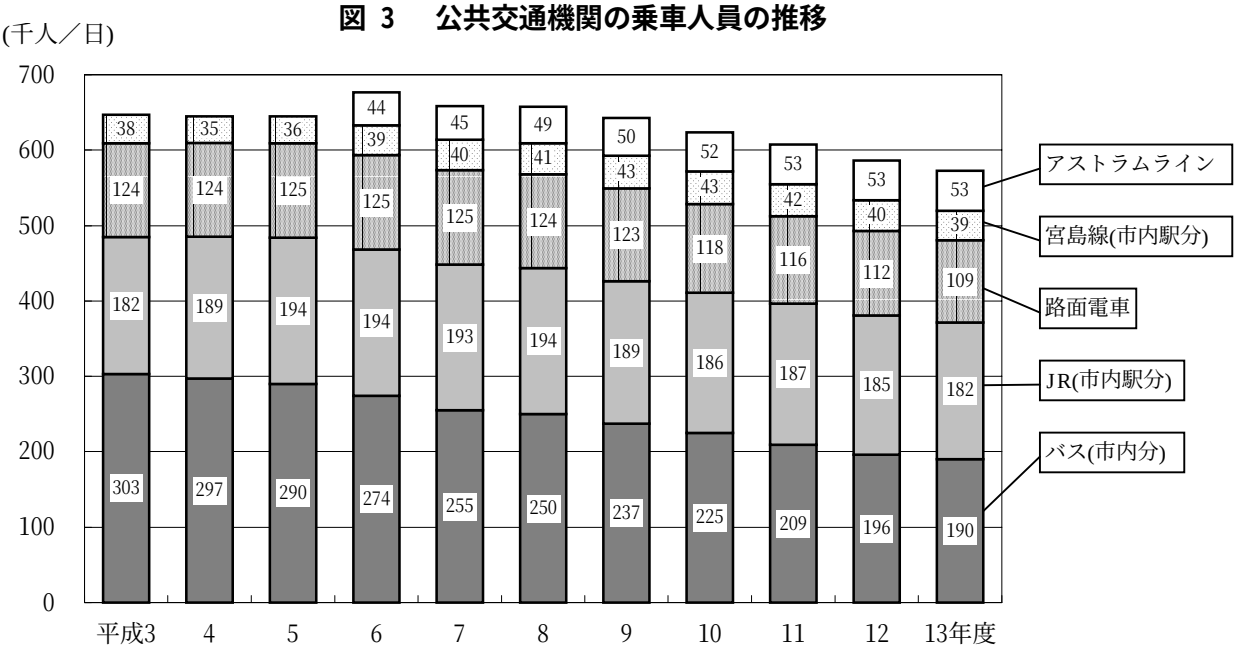
(6) 交通の状況

ア　公共交通機関の利用状況

公共交通機関の一日平均乗車人員の推移を機関別にみると、バスについては平成 5 年度以降

大幅に減少を続けており、その他は概ね横ばいである。総数については、平成 7 年度以降減少傾向にある。

図 3　公共交通機関の乗車人員の推移



資　料：広島市統計書より作成
(注) JR 市内駅分には、向洋、海田市駅を含む。

イ　車種別自動車登録台数

市内の登録自動車台数は、平成 13 年度末現在 610,179 台で前年度末に比べ 0.9%増加した。これを車種別にみると、乗用車が 365,194 台（総数の 59.9%）で同 0.2%増、軽自動車が 158,173 台（同 25.9%）で同 3.8%増、貨物用が 60,237 台（同 9.9%）で同 2.4%減、小型二輪自動車が 11,324 台（同 1.9%）で同 1.6%増となっている。

表 6　車種別登録自動車台数

年　度	総　数	貨物用			乗合用	特　殊用途用	乗用車	特殊車(大型)	小型二輪	軽自動車
		普通車	小型車	被けん引用						
平成 9 年度末	584,788	16,928	49,239	468	2,051	8,667	352,688	3,198	10,907	140,642
10 年度末	591,598	16,774	47,440	470	2,050	9,288	358,513	3,196	11,292	142,575
11 年度末	598,665	16,814	45,914	482	2,049	9,661	361,933	3,206	11,090	147,516
12 年度末	604,898	16,716	44,558	469	2,076	9,877	364,399	3,221	11,144	152,438
13 年度末	610,179	16,562	43,185	490	2,108	9,975	365,194	3,168	11,324	158,173

資　料：平成 14 年版市勢要覧